



2015 -2016 年度

国際ロータリー会長：K. R. ラビンドラン「世界へのプレゼントになろう」
第2560地区ガバナー：山本 和則「夢 (gift) を明日へ繋げよう」

三条北ロータリークラブテーマ「ロータリーの輪を広げよう」

会長：外山 晴一
幹事：渋谷 義徳
SAA：石川 一昭

例会日：火曜日12:30～13:30
例会場：三条ロイヤルホテル TEL.34-8111
事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内
TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP: <http://www.sajo-nrc.org>

AD: north@sanjo-nrc.org

本日の行事：

「基本的教育と識字率向上月間」

- ◆本日の出席：66名中38名
- ◆先々週の出席率：65名中54名 81.82%
(前年同期 76.85%)
- 8月の出席状況：会員数66名
例会数 4回
平均出席率 83.28%
(前年同月 76.85%)
- ◆本日のゲスト：RI第2560地区
国際奉仕委員長 高橋優子様
- ◆本日のビジター：三条南RCより
野中 悟さん、田代徳太郎さん
木村 譲さん
- ◆先週のメイクアップ
9月6日第5回ゴルフコンペ 丸山正男
柄沢憲司、丸山 勝、花井知之
佐藤義英、武田恒夫、石川一昭
大野新吉、今井克義、米山忠俊
加藤 實、石丸 進、大橋政雄
金子太一郎、斎藤 正
7日市内4RC会長幹事会
渋谷義徳
8日30周年実行委員会&
社会奉仕委員会
山中 正、羽賀一真、外山晴一
渋谷義徳、石川一昭

会長挨拶：外山晴一会長



(ジェントルマンの誕生)

近代フリーメーソンができる前の17世紀のヨーロッパはオランダがスペインに代って世界の貿易の中心となり繁栄していた。

その頃のイギリスは遅れた農業、牧畜国家であり、豊かな国オランダに毛織物を売っていた。高級な毛織物が良く売れ、これを売っていた毛織物業者が富を蓄えて市民層を形成していた。この毛織物が綿織物になっていき、産業革命を起こしてイギリスの国力を上げ、7つの海を支配する世界の覇者、大英帝国を作っていく。当時進行していた農業革命も相まって、毛織物の原料である羊を多く飼うため、羊の放牧地や農地を囲い込んでいった下級地主や借地農家が主に毛織物業に参入していった。彼らは身分的には貴族階級の下に位置していたが、富を蓄えるとともに貴族との差がなくなり、「地主貴族層」つまりイギリスの伝統的エリート層であるジェントルマンとなっていた。ジェントルマンが社会的尊厳を保ち続けたのは富の力だけでなく、慈善事業に積極的に取り組み、地域に奉仕する名士として振るまい、それを周囲に示し続けたからである。戦争になれば彼らは真っ先に志願し、命を顧みず、先頭に立って戦った。新たに富を蓄えた新興市民も名誉と尊厳を求めてジェントルマンになりたければ、自己の利益を求めただけでなく、彼らと同じように時には志願兵となり命をも顧みない奉仕活動をして地域より尊敬を得れば取り込んでいった。このように自分を固定せず、新興市民層をうまく支配階級に取り込むことでイギリスは強い支配層を作ることになった。国王はじめロイヤルファミリーもフリーメーソンに入り、フリーメーソンが支配層にとりこまれた。

フリーメーソンによる市民革命がフランスと違い成功しなかったのはこのような身分の流動化の成功とそれによる強い支配層の存在である。つまり、イギリスでは出生身分を問わずに、富を蓄え、奉仕活動をして地域社会よりの尊敬を得ればジェントルマンになれ、上流社会に入ることが出来た。ロータリーの思想である奉仕の精神の源をここに見ることができる。

ところでこのジェントルマンが羊の放牧地で遊んだのがゴルフである。ゆえにこのころ、つまり17世紀ころよりイギリスでゴルフが盛んになり、近代フリーメーソンができる18世紀にはいまにつながる名門コースが続々と出来て行った。

幹事報告：渋谷義徳幹事

- ・三条南RCより 市内4RC合同公開例会のご案内
日時 10月17日(土)13:30～
会場 ジオ・ワールドVIP
蓮池薫氏講演会「拉致と決断」
10月20日(火)の例会と振り替えとなります。
(10/20の例会はありません) 詳細は後日ご案内します



*****ロータリー財団ボックス8日現在累計177,000円*****

- 石丸 進君 高橋委員長、本日は卓話ありがとうございます。
- 石川 一昭君 BOXに協力!!
- 本間建雄美君 財団BOXにご協力ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。
- 石川 友意君 BOXに



*****米山奨学ボックス8日現在累計224,000*****

- 羽賀 一真君 昨日のさる～んさんのゴルフコンペに参加させていただきました。ヨネックスのゴルフ場をほぼ貸し切りの多人数で驚きました。
- 佐藤 秀一君 BOXに協力です。
- 高橋 彰雄君 協力します。
- 石川 一昭君 //
- 佐藤 弘志君 高橋国際奉仕委員長、ご指導宜しくお願い致します。
- 西村 護君 //



*****ニコニコボックス8日現在累計208,000円*****

- 野中 悟君 (三条南RC) 高橋大委員長を歓迎して、本日は宜しく申し上げます。
- 田代徳太郎君 (三条南RC) いつも記帳ではお世話になっております。本日は本当のメイクアップに来ました。宜しく申し上げます。
- 中條 耕二君 講師の高橋優子さんようこそ。南クラブの田代さん、野中さん、木村さん心から歓迎します。
- 外山 晴一君 高橋国際奉仕委員長、本日の卓話ありがとうございます。
- 早川 瀧雄君 2560地区国際奉仕委員長の高橋優子様卓話宜しく申し上げます。
- 岡田 健君 国際奉仕委員長の高橋優子さん、歓迎致します。講話楽しみにしております。
- 佐藤 義英君 BOXに協力!!高橋優子国際奉仕委員長よろしくお願い致します!!
- 石丸 進君 高橋委員長の卓話に感謝します。
- 松山 浩仁君 娘が今度の日曜日から一年間留学します。淋しくなりますが大きく成長して何より無事帰ってくる事を願っています。
- 石川 一昭君 9/6の当クラブゴルフ大会にて久しぶりに優勝させて頂きました。来週の「霞ヶ関カンツリー」でも優勝目指します。

丸山 勝君 北クラブのゴルフでベストグロスを貰いました。久しぶりです。
 武田 恒夫君 先日のゴルフコンペ午前中41、午後60天国と地獄を味わいました。ゴルフはなめたらダメを思い知らされました。
 今井 克義君 北RCのゴルフコンペで善戦空しく最下位に。但し賞品は素晴らしい梨の詰め合わせで次からは当然いつもゲス狙いで。
 斎藤 正君 BOXに協力して
 浅間 一洋君 〃
 森 宏君 今年は6月のトライアスロン大会で医者が2人死に、理事長からやめろと言われ、更に同僚が入院。佐渡トライアスロンは行けませんでした。
 イライラ



本日の行事：「基本的教育と識字率向上月間」



第2560地区国際奉仕委員長 高橋優子様（新潟万代RC）

「基本的教育と識字率向上のために、私たちができること」

世界中のロータリークラブがそれぞれ地域のニーズにあった奉仕活動をしています。国際ロータリーでは6つの重点分野を定めグローバル補助金のような大きな資金の支援をしています。その中に「基本的教育と識字率向上」があります。

世界には子どもたちが基本的な教育を受けられず、成人が十分に読み書きできない国や地域があります。

そうした地域で基本的教育を提供し識字率を上げれば、そのほかの諸問題の解決（貧困の削減、健康状態の改善、地域社会と経済の発展、平和構築など）の糸口をつかむことができるのではないかと国際ロータリーは考えています。

皆さんは世界の人口の内どれくらいの人が読み書きが出来ないかご存知でしょうか？

7億8千万人の人が読み書きができません。そしてその3分の2が女性であると言われていています。

日本人にとってはごく当たり前の「読み書き」という行為ですが、世界の人口の10人に1人は読み書きが出来ないのです。

読み書きが出来ないとどんなことが起こるのでしょうか？

なかなか定職につくことが出来ず、安定した収入が得られません。

そのため子供にきちんとした教育を受けさせる

ことが出来ず、子供はまた読み書きが出来ず貧困から抜け出せない、という負の連鎖が起こります。

それだけでなく、字が読めないために危険な場所に入ってしまったたり、口に入れてはいけないものを食べてしまったり、また悪い人に騙されたり搾取されたりするのです。

何らかの事情で学校へ行けない子どもたちの数は？5,800万人ほどいます。

1990年からの25年間で学校に行けない子どもは世界中では半減していますが、ここ数年間はなかなか状況は良くなっていません。

2011年に小学校に入学している子は1億3千700万人います。その内1/4の子ども達が卒業せずに終わってしまう。というデータがあります。

また世界的には教育の男女差が縮まっていますが、中東、南・西アジア、サハラ以南アフリカといった地域ではまだ格差が見られます。これらの地域で女子生徒が少ない主な理由は以下の通りです。

- 1 女性の社会的立場が弱い
- 2 経済的理由（交通費・授業料、収入を得るための仕事の手伝い、等）
- 3 男性教員が圧倒的に多く、これらの教員は性差別について研修を受けていない
- 4 長距離通学のため、安全上の問題がある（性暴力の標的となりやすい）

5 学校に十分な衛生施設（個別トイレなど）がない

ロータリーでは教育の場を提供する、性差別をなくする、成人に対する識字教育をする。ということで支援しています。

すべての女性が初等教育を修了すれば、妊婦の死亡率は 66%減少する。

読み書きのできる母親を持つ子どもは、読み書きのできない母親の子と比べて、5 歳以上まで生き延びる確率が 50%高い

低所得国で全生徒が読み書きを習得した場合、1 億 7,100 万人が貧困から抜け出すことができる。これは全世界の貧困の 12%に相当する。というように基本的教育が必要である。

世界中のロータリアン、ロータリークラブがどんな活動をしているのか紹介させていただきます。

素晴らしいと思うのは、元々 R 財団の親善奨学生だった人達がかかり、お手伝いをしたり、自らロータリアンになり活動している。ロータリー財団の仕事が全て繋がってきていることが本

当に嬉しいことだと思います。

グローバル補助金について

皆さんからして頂いている R 財団寄付は、3 年後に半分地区が使える様になっています。

最低 3 万ドル以上のプロジェクトでなければいけません。その半分をロータリアン又はロータリークラブが集めると残り半分を世界基金からサポートしてくれます。

被援助国の RC が必ずなければならない。援助をする RC は何カ国でもいい。

ロータリー以外の奉仕団体と協力したプロジェクトも考えられます。

新潟万代 RC ではユネスコの寺子屋運動に協力しています。

海外だけでなく日本でも識字率向上のプログラムも沢山あります。日本の識字率は 100%に近いです。学校に行けない子達もいませんが 1 日 10 分読み聞かせをする事で学習意欲も向上します。地域の集会所などで行なうことも可能です。

ご静聴ありがとうございました。

テロの危険を顧みず、ロータリアンのラジャ・ジャンさん（写真右端）は祖国アフガニスタンに少女たちのための学校を建てました。

400 名以上の女子が教育を受けています。



1998 年以来ガテマラと北米の 400 以上のロータリークラブが協力団体

「Cooperative for Education」と手を組み子どもたちに教科書を提供しています。



ガテマラではロータリークラブがグローバル補助金を利用して 9 つの小学校に浄水パイプ、水洗式トイレ、洗面所を設置



カンボジアのブノンペン・ロータリークラブは、この国の僻村で活躍する移動図書館に対する資金援助を求めています。移動図書館は、司書がボランティアアシスタントとともに運営し、一台につき週に約 10 町村を訪れます。



新潟万代ロータリークラブは

- 2013年の創立20周年事業としてユネスコに協力
- カンボジア・シェリムアップ州サム・ロン村で識字クラスを開講
- 15歳から28歳までの25人が8ヶ月間で基本的識字能力を身につけ、収入向上や保健衛生の改善に役立てた



識字クラスの生徒に教科書を配布
クラスに必要な文房具や備品も寄付

Why Read Aloud

- 子供の心の穏やかさや価値観を育む
- 読み手と子供の間に関係が生まれる
- 子供の語彙、口頭言語技術、流暢さの発達を助け学習に対する積極的な態度が身につく
- 日常会話で耳にする単語の3倍の素晴らしい言葉に触れる



ホノルルサンライズRCのメンバーは
毎月第一水曜日と木曜日に地元の小学校で放課後
読み聞かせをしています

基本的教育と識字率向上をサポートするには

- ロータリーのホームページで協力できるプロジェクトを探す
- 同様の奉仕活動をしている団体と協力する
- 地域で出来る事を考える

第5回ゴルフ大会 9月6日(日) ヨネックスカントリー倶楽部
優勝：石川一昭 ■準優勝：大橋政雄 ■三位：金子太一郎



R I 第 2640 地区 SunriseofJapanEclub 山本 賢会員より皆さんにご紹介したいと言う事です

R I 3 3 6 0 地区チェンライRC元会長・タイ国立ダムロン高校日本語教師 原田義之

私は8年前の64歳に会社経営から一切身を引き「タイ北部の貧困な子供たち支援」のためミャンマー、ラオス、タイ国境近くのワーヴィー村に我が身を移しました。少数民族・アカ族子供たちへの「就学支援」と「識字向上」を私財を投じて奉仕し始めました。

その決断は日本のロータリアンとして21年間学んだ「奉仕の心」を「奉仕を行動する」に我が身を舵切ることでした。その結果今は「北タイ貧困地」に入り、チェンライにありますタイ国立ダムロン高校でボランティア日本語教師をする傍ら72歳の我が身に鞭打ち「終着点のない国際奉仕ライフワークに挑戦」中です。

日本でのロータリアン期間の15年間はタイ北部の貧困な教育環境下の小学校36校に図書配布をしました。その奉仕を通し極貧なるが故に就学が出来ず母国語・タイ語を学べないアカ族子供たちに出会いました。その子供たちの瞳に「貧困とは無縁の輝き」を見ました。その瞳に魅せられ8年間「就学支援、識字向上」奉仕をしています。貧困な中にもタイ語を一字一字学ぶ子供たちとの絆は深まるばかりでした。

私が語らなければ知られることない「アジアの片隅に住む少数民族子供たちの貧困と識字向上支援」の必要性を皆様に熱く語らせて頂いています。